

平成27年度埼玉県学力・学習状況調査結果の概要について

1 調査の目的

- (1) 県が児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。
- (2) 教育委員会、学校等が自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が、各児童生徒一人一人の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善策に役立てる。

2 調査の概要

- (1) 実施期日 平成27年4月16日(木)
- (2) 対象学年 小学校第4学年～第6学年
中学校第1学年～第3学年
- (3) 調査事項
 - ア 教科に関する調査
国語、算数・数学、英語（中学校第2、3学年のみ）
 - イ 児童・生徒を対象とした質問紙調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する質問紙調査
- (4) 調査方式 悉皆調査

3 教科区分ごとの平均正答率

(単位%)

	学年	国語	算数・数学	英語
小学校調査	小4	61.1 62.0	64.1 67.2	
	小5	69.0 72.8	62.9 66.5	
	小6	66.0 69.0	57.0 59.3	
中学校調査	中1	68.4 70.6	56.6 58.1	
	中2	60.6 66.5	43.8 49.5	65.1 70.1
	中3	58.8 63.9	39.2 47.1	56.9 66.0

※上段：羽生市 下段：埼玉県

4 教科に関する調査結果（領域・観点・問題形式ごとの平均正答率）の概要

小4 国語

(%)

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率	
			羽生市	埼玉県
教科の領域等	話すこと・聞くこと・書くこと	3	44.7	47.2
	書くこと	1	88.8	88.8
	読むこと	18	52.7	53.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	27	68.5	69.1
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	-	-	-
	話す・聞く能力	2	56.5	56.0
	書く能力	1	21.1	29.6
	読む能力	18	52.7	53.5
	言語についての知識・理解・技能	27	68.5	69.1
問題形式	選択式	22	66.2	65.6
	短答式	25	60.1	61.5
	記述式	1	21.1	29.6

小4 算数

(%)

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率	
			羽生市	埼玉県
教科の領域等	数と計算	27	65.7	68.4
	量と測定	8	61.2	63.9
	図形	8	49.8	55.3
	数量関係	8	76.2	78.2
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	-	-	-
	数学的な考え方	5	32.5	37.3
	数量や図形についての技能	18	76.8	79.6
	数量や図形についての知識・理解	28	65.2	67.9
問題形式	選択式	15	61.5	63.6
	短答式	35	65.8	69.5
	記述式	1	59.5	60.0

小5 国語

(%)

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率	
			羽生市	埼玉県
教科の領域等	話すこと・聞くこと・書くこと	3	67.0	68.6
	書くこと	1	88.8	88.8
	読むこと	18	69.2	73.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	27	69.3	73.1
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	-	-	-
	話す・聞く能力	2	77.3	78.3
	書く能力	1	46.4	49.1
	読む能力	18	69.2	73.7
	言語についての知識・理解・技能	27	69.3	73.1
問題形式	選択式	31	70.2	73.6
	短答式	16	69.2	73.8
	記述式	1	46.4	49.1

小5 算数

(%)

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率	
			羽生市	埼玉県
教科の領域等	数と計算	22	69.7	73.5
	量と測定	8	50.8	53.3
	図形	8	53.2	58.3
	数量関係	8	66.8	69.5
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	-	-	-
	数学的な考え方	3	28.4	39.8
	数量や図形についての技能	18	70.8	73.4
	数量や図形についての知識・理解	25	64.6	67.3
問題形式	選択式	17	59.3	62.4
	短答式	28	68.3	72.3
	記述式	1	18.7	20.3

小6 国語

(%)

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率	
			羽生市	埼玉県
教科の領域等	話すこと・聞くこと・書くこと	3	60.3	63.8
	書くこと	1	88.8	88.8
	読むこと	18	71.4	73.9
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	27	64.2	67.2
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	-	-	-
	話す・聞く能力	2	73.4	75.6
	書く能力	1	34.0	40.2
	読む能力	18	71.4	73.9
	言語についての知識・理解・技能	27	64.2	67.2
問題形式	選択式	32	69.3	71.3
	短答式	15	63.1	67.4
	記述式	1	34.0	40.2

小6 算数

(%)

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率	
			羽生市	埼玉県
教科の領域等	数と計算	21	65.4	66.1
	量と測定	8	48.1	52.5
	図形	8	55.9	59.4
	数量関係	9	48.6	51.0
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	-	-	-
	数学的な考え方	5	31.0	33.8
	数量や図形についての技能	16	67.3	69.0
	数量や図形についての知識・理解	25	56.7	59.2
問題形式	選択式	23	51.7	55.8
	短答式	22	66.1	66.1
	記述式	1	23.2	25.2

中1 国語

(%)

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率	
			羽生市	埼玉県
教科の領域等	話すこと・聞くこと・書くこと	3	66.6	69.6
	書くこと	1	88.8	88.8
	読むこと	18	70.5	74.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	27	67.6	69.0
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	-	-	-
	話す・聞く能力	2	73.5	77.6
	書く能力	1	52.8	53.6
	読む能力	18	70.5	74.1
	言語についての知識・理解・技能	27	67.6	69.0
問題形式	選択式	31	71.1	73.5
	短答式	16	65.0	67.2
	記述式	1	52.8	53.6

中1 数学

(%)

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率	
			羽生市	埼玉県
教科の領域等 (小学校)	数と計算	18	61.5	62.4
	量と測定	11	61.7	63.2
	図形	8	50.0	50.8
	数量関係	9	47.9	51.2
評価の観点 (小学校)	算数への関心・意欲・態度	-	-	-
	数学的な考え方	8	41.3	43.2
	数量や図形についての技能	20	62.3	64.0
	数量や図形についての知識・理解	18	58.5	59.6
問題形式	選択式	14	50.6	52.4
	短答式	31	61.9	63.0
	記述式	1	22.2	28.2

※実施時期が4月のため、出題内容は小学校の内容となっています。

中2 国語

(%)

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率	
			羽生市	埼玉県
教科の領域等	話すこと・聞くこと・書くこと	3	66.3	72.9
	書くこと	1	88.8	88.8
	読むこと	18	64.6	70.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	27	57.5	63.4
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	-	-	-
	話す・聞く能力	2	79.8	84.0
	書く能力	1	39.3	50.6
	読む能力	18	64.6	70.3
	言語についての知識・理解・技能	27	57.5	63.4
問題形式	選択式	33	61.1	66.2
	短答式	14	62.0	69.2
	記述式	1	39.3	50.6

中2 数学

(%)

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率	
			羽生市	埼玉県
教科の領域等 (小学校)	数と計算	5	51.5	59.4
	量と測定	2	53.0	57.2
	図形	2	43.6	48.8
	数量関係	2	46.0	52.6
評価の観点 (小学校)	算数への関心・意欲・態度	-	-	-
	数学的な考え方	1	45.8	54.9
	数量や図形についての技能	6	48.0	55.6
	数量や図形についての知識・理解	4	51.6	55.5
教科の領域等 (中学校)	数と式	16	50.1	58.1
	図形	9	44.3	45.9
	関数	7	32.9	38.8
	資料の活用	6	23.4	26.1
評価の観点 (中学校)	数学への関心・意欲・態度	-	-	-
	数学的な見方や考え方	3	14.6	18.9
	数学的な技能	20	42.9	49.3
	数量や図形についての知識・理解	15	45.8	50.1
問題形式	選択式	23	46.4	51.1
	短答式	25	43.9	50.5
	記述式	1	10.0	16.0

※出題内容は小学校、中学校両方となっています。

中2 英語

(%)

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率	
			羽生市	埼玉県
教科の領域等	聞くこと	10	73.1	77.1
	話すこと	-	-	-
	読むこと	41	65.2	70.5
	書くこと	13	53.4	58.9
評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	1	81.2	87.1
	外国語表現の能力	1	43.5	49.6
	外国語理解の能力	29	69.9	74.8
	言語や文化についての知識・理解	33	58.8	63.8
問題形式	選択式	62	65.3	70.2
	短答式	-	-	-
	記述式	2	62.4	68.3

中3 国語

(%)

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率	
			羽生市	埼玉県
教科の領域等	話すこと・聞くこと・書くこと	3	58.1	65.6
	書くこと	1	88.8	88.8
	読むこと	18	61.6	67.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	27	57.5	61.7
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	-	-	-
	話す・聞く能力	2	55.5	63.8
	書く能力	1	63.4	69.1
	読む能力	18	61.6	67.5
	言語についての知識・理解・技能	27	57.5	61.7
問題形式	選択式	31	61.3	66.7
	短答式	16	54.9	59.3
	記述式	1	63.4	69.1

中3 数学

(%)

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率	
			羽生市	埼玉県
教科の領域等	数と式	21	46.3	56.6
	図形	9	50.7	55.9
	関数	10	21.7	30.0
	資料の活用	8	29.5	34.4
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	-	-	-
	数学的な見方や考え方	3	15.7	23.9
	数学的な技能	28	40.6	49.2
	数量や図形についての知識・理解	17	42.2	49.1
問題形式	選択式	15	42.3	49.3
	短答式	32	39.3	47.9
	記述式	1	6.7	11.8

中3 英語

(%)

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率	
			羽生市	埼玉県
教科の領域等	聞くこと	10	62.9	70.5
	話すこと	-	-	-
	読むこと	33	57.1	65.8
	書くこと	15	47.7	60.1
評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	1	44.1	62.3
	外国語表現の能力	1	51.3	60.9
	外国語理解の能力	29	60.5	69.0
	言語や文化についての知識・理解	27	52.5	61.9
問題形式	選択式	56	57.4	66.2
	短答式	-	-	-
	記述式	2	47.7	61.6

羽生市の小・中学校の学習状況の分析結果（現状）

【国語】

どの学年においても正答率の低い問題は類似しており、「指示語」「修飾語」「ことわざ」「慣用句」「部首」等の文法についての理解の定着度が低い。また、読み取る力はそれほど低くないものの、「文章中から選び、適切な文を書き抜く問題」の正答率が極めて低く、無回答率も高い。授業で、教科書のトピックス的な扱いの内容や、単元を終えた後の章末学習を丁寧に扱い、定着を見届ける必要がある。

【算数・数学】

小学校では、どの学校も、業前の時間やサマースクール、家庭学習等を利用して、基本的な計算力の向上に向けて取り組んでいるため、「数量や図形についての技能」の項目についてはそれほど低くはない。しかし、「はかり」「図形」「グラフ」「分数の概念」等、単発的な内容項目においては、授業以外で取り組む時間が少ないためか、正答率が低い。学校毎に課題を挙げ、授業以外でも繰り返し扱う必要がある。

中学校においては、「四則混合計算」「文字式」「方程式」等、数学の基本となる計算における正答率が低く、学年が上がるにつれて県平均との差が大きくなっている。また、選択式の正答率が低い。このことより、生徒の理解に曖昧なところがあり、似たような解答例を選択してしまっているのではないかと考えることができる。算数・数学は他教科に比べ、県平均との差が大きい。

【英語】

1つの項目を除き全ての項目において、県平均と5ポイント以上の差がついている。特に「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」においての差が大きいことがわかる。

市内では、ALTを全校に配置し、低学年段階から外国語に触れた教育を実施しているにも関わらず、関心・意欲・態度の項目が低いのは、中学校の英語の学習との内容差が原因ではないかと思われる。小中一貫教育の視点から、外国語、英語教育の在り方について検討の余地がある。

【羽生市の今後の取組】

学力向上推進委員会を開催し、学校毎の分析方法を見直し、自校の課題、児童一人一人の課題を焦点化させ、指導の改善を図ります。

(1) 管内小・中学校の学習指導の充実に向けて
各教科において、誤答の多かった問題の解答類型を整理し、課題となる学習内容を重点とした学習計画を作成し、実施していきます。

(2) 管内小・中学校の家庭学習の充実に向けて
家庭学習について、児童生徒の課題に応じた内容になっているか、学習内容は定着しているかの見届けを確実にいきます。